

環境負荷を下げながら楽しむおしゃれとは？

ユーズドとのコーディネート戦術

みなみ あきこ
(株)ダイナックス都市環境研究所 南 明紀子

1 統計でみる古着

2008年にインターワイヤード(株)[†]が実施した「古着の購入に関するアンケート」結果によると、古着を購入したことがある人は42.1%（モニター10,099人が回答）、男女比では女性の購入割合が高いですが、男女共に20代が一番高くなっています。また、購入場所は「古着屋（店舗）」59.0%、「リサイクルショップ」29.3%、「フリーマーケット」（23.4%）、「ネットオークション」（19.4%）という順番で、半数以上の人が古着屋で購入していることから

も、古着を買うという目的を持って店舗を訪れる人が多いことが分かります。

これらの人たちは実際にどんなものを購入しているのでしょうか（図1）。上記のアンケートでは、「Tシャツ」（35.4%）、「デニム・ジーンズ」（29.4%）、「スカート・ワンピース」（23.9%）という結果になっています。ここでは購入したものがブランド品かノンブランド品かは分かりませんが、品目を見ると普段着として着まわしできるもの、何着あっても困らないものを購入している人が多いようです。

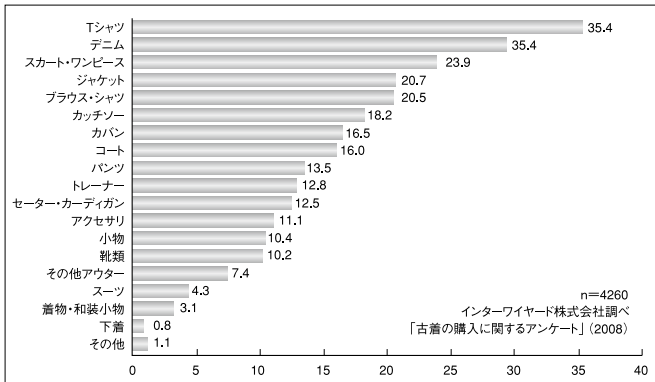


図1 購入した古着の種類

[†] インターワイヤード株式会社 調査結果 <http://www.dims.ne.jp/timelyresearch/2008/081028/>

2 愛用者に聞く！ コーディネートのポイント

古着と聞くとまず「古着屋やフリーマーケットで買うもの」というイメージが頭に浮かぶと思いますが、子供のころ兄弟や親戚、近所の人からのお下がりを着ていたことのある人もいるのではないのでしょうか。買うものだけではなく、お下がりも古着です。また、古着を買ったことのない人、古着屋に行ったことのない人は「においが気になるのでは」「汚れているのでは」といったマイナスイメージを持っているかもしれません。

では、古着を愛用している人はなぜ古着を買うのでしょうか。また、どのようにコーディネートしているのでしょうか。実際に古着をおしゃれのために活用している人に聞いてみました。

(1) 古着を買う理由は？

20代から50代の男女56人に質問しました。56人中、古着を利用したことのある人46人が古着を買う大きな理由は「安いから」、そして「良

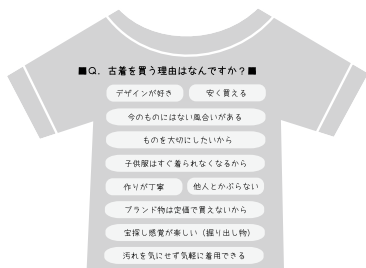


図2 古着を買う理由

いデザインがあるから」でした（図2）。おしゃれ好きな人は、現在では売っていないデザインや色遣いの洋服が安く手に入る、他人とかぶらない、といったデザイン性と経済性をまず理由として挙げています。ブランドものを購入したい人にとっても、正規の値段では買えなかった商品が古着なら安く手に入るというメリットがあります。また、子育て世代の人にとっては、すぐに小さくなってしまいう子供服も古着なら節約にもなり、汚れも気にしなくていいという大きな利点があるようです。

(2) 古着でコーディネート

次におしゃれのツールとして古着を購入して楽しんでいる人へのインタビューを通して見つけた、コーディネートのポイントを紹介します。協力していただいたのは東京都出身20代の女性で、1990年代後半、高校で古着が流行ったことが古着を買うきっかけになったと言います。

①新しい洋服と合わせる

(図3 その1、その2)

デザインが気に入った古着があれば購入して、すでに持っている新品の洋服と合わせてコーディネートを楽しみます。値段が手ごろな上に、大量生産ではないため他人とかぶらず値段がばれないのが魅力です。気をつけている点としては、ズボン類はサイズが合わないことが多いため試着を必ずすることで無駄な買い物が減ります。

また、母親からのお下がりも一緒に楽しんでいます。

②リメイク (図3 その3)

サイズが合わない古着でも、生地デザインが気に入った場合はサイズを直したり、リメイクするなどして楽しめます。浴衣をスカートに、Tシャツのワンポイントデザインを布バッグの模様にするなど、全く違うものに作り替えます。今ではリメイクが趣味の一つになるほどです。

③小物にも挑戦 (図3 その4)

今ではお店で探しても見つからないようなデザインの小物が、古いものにはたくさんあります。壊れている部分は自分で直し、工夫しながら利用します。

古着を買う理由はやはり、デザインが好きだからということが大きな理由のようですが、古着を着るようになってからは、カバンや靴、小物、家具なども古い物を買うようになったそうです。

3 古着を手に入れる！ 6つのルート

古着の楽しみ方として3つの方法を紹介しましたが、それではどこで古着を手に入れることができるのでしょうか。実践編として比較的身近な購入ルートを紹介しますので、ぜひ古着を一度手にとってみてください。古着は汚い、くさいといった先入観がなくなるかもしれません。

コーディネートその1(スカート)



入手先: 母親からのお下がり
詳細: 上下セットだったが、スカート部分のみ利用。白地に茶色の花柄で柄の上には刺繍が入っている。
ポイント: 生地デザインのほか、細かい刺繍も、今では手に入らない。Tシャツなどに合わせて普段着として利用している。

コーディネートその2(トップス)



入手先: 古着屋
詳細: 白地に赤・ピンクなどの小さい花柄がプリントされたデザイン。
ポイント: デザインが気に入って購入したもの。手作り品に見えるタグが付いている。普段は紺や黒のキユロットやレギンス(新品)と合わせて着ている。

コーディネートその3(浴衣)



入手先: 古着屋
詳細: 白地にオレンジで草柄が入った浴衣。
ポイント: 昔の浴衣はオーダーメイド品が多くサイズが合わないため、下半分のみを利用してスカートとしてリメイク。主に近所に出かける際や部屋着として着用している。

コーディネートその4(小物)



入手先: 母親からのお下がり
詳細: 枠も全て木製の小さなカバン。
ポイント: 持ち手が壊れていたので、木のビーズを買いリメイクして使っている。

ルート1 古着屋

東京では下北沢、原宿、吉祥寺などが古着屋の多い街として有名ですが、全国に小さな店舗が点在しているため一番購入しやすい場所と言えます。店舗ごとに置いてある商品の

テイストやスタイルが違う場合もあるので、お気に入りのお店を見つける楽しみもあるでしょう。ただし、海外の古着は、輸入にかかる環境負荷がとてもし高い可能性があることも忘れてはいけません。

ルート2 リサイクルショップ

古着屋とは異なり、利用客から買取った不用品を販売している店舗であるため、商品は古着だけではありません。ほぼ新品の状態でも売られる場合もあり、比較的きれいな商品が手に入ることもあります。最近では(株)ハードオフコーポレーションが衣類や生活雑貨にも対象を広げ、多様な中古品を取り扱う店舗を展開しています。

ルート3 NPOのリユース活動

愛知県で主に活動しているNPO「中部リサイクル運動市民の会」ではリユースステーション[†]において、いらぬ古着などを持ちより欲しい人が持って帰る、ゆずりあいのシステムができています。また、神奈川県NPO「WE21 ジャパン」では、寄付された古着等をWEショップ^{††}で販売し、売上を海外支援に利用しています。活動資金として古着を販売している東京都NPO法人「エコメッセ」もあります(本誌pp.68~71)。こういった拠点はまだまだ探せば皆さんの身近な場所にもあるかもしれません。

ルート4 フリーマーケット

他のルートと違い、洋服の持ち主と直接交渉できる点にメリットがあります。試着ができないのが難点ですが、値下げ交渉もできるため安く手に入れることができるかもしれません。

ルート5 洋服交換会

海外では洋服の交換パーティが頻繁に開催されていますが、最近では日本でも各地で洋服交換会が開催されています。フリーマーケットと違い、自分がいらぬ洋服を持っていく代わりに、他の人が持ってきた洋服を持ち帰ることができる(=交換)ことが魅力です。

ルート6 ネットオークション

Yahoo!オークションなど、一般の人たちが出展している古着をインターネットを通して購入することも可能です。オークションであるため希望者が少なければ入札額が安くすむこともありお得な場合もあります。

この他にも、知らない人が着ていた洋服に抵抗があるという人は、まず知人や兄弟など仲の良い人たちからお下がりをもらうことも1つの手段です。古着を手に入れるルートはたくさんありますが、まずは試しに古着を取り扱っている店舗に行き、気に入るデザインを探してみようでしょうか。新しいおしゃれの楽しみ方が見つかるかもしれません。

[†] NPO法人中部リサイクル運動市民の会 <http://www.es-net.jp/reuse/reuse3.html>

^{††} WE21 ジャパン <http://www.we21japan.org/we-shop.php>